

第12回下関市景観賞概要

1 趣旨

下関市の良好な景観の形成に向けて、「下関市景観条例」に基づき、市民の皆さんへの景観まちづくりに対する関心の醸成や活動者、所有者、設計者等のさらなる景観意識高揚を図るため、「下関市景観賞」を実施。

2 募集内容

- (1) 景観フォトコンテスト部門
下関市内の「私が残したい素晴らしい景観」をテーマとした写真が対象。
- (2) 景観デザイン部門
下関市内にある、良好な景観を形成している建築物・工作物等が対象。
- (3) 景観まちづくり活動部門
下関市内で行われている、良好な景観を形成するための活動が対象。

3 募集方法及び応募件数

- (1) 募集期間 令和3年(2021年)6月1日(火)～8月2日(月)(63日間)
- (2) 募集広報 市長定例記者会見、報道発表、市ホームページ、市報6月号、フェイスブック、インスタグラム
- (3) 応募件数 196件

4 選考

- (1) 選考者 下関市景観審議会デザイン委員会委員(10人)
- (2) 選考対象 118件(応募件数のうち、募集要件を満たさない78件を除外。)
※応募要件不適合の主な理由: 応募要件「1人3点まで」(景観フォトコンテスト部門)を満たさなかったため。
- (3) 選考方法
 - ア 書面審査(8月16日(月)～9月3日(金))
選考対象についてデザイン委員会委員による書面審査を実施。
各部門で得票数の多かったものを最終審査対象として選定。
(最終審査対象: 景観フォトコンテスト部門9件、景観デザイン部門2件、景観まちづくり活動部門2件)
 - イ 現地審査等(10月5日(火)10:00～14:20)
最終審査対象のうち、3件について、デザイン委員会委員(10人中7人)が現地審査。
※景観フォトコンテスト部門は、写真で審査するため、現地審査対象外。
※景観まちづくり活動部門2件のうち1件は、現地審査に適さないため、現地審査対象外。
最終審査の前に、活動団体による説明・委員による質疑を行った。
 - ウ 最終審査(10月5日(火)14:20～15:20)
現地審査・資料を踏まえ、デザイン委員会委員(10人中7人)により、表彰案件を選定。

景観フォトコンテスト部門

景観賞 「砂紋(さもん)」

(撮影スポット: 綾羅木海岸)

(受賞者: toko3318) ※インスタグラムアカウント(インスタ応募)

優秀賞2件

- ・「汽車」
(撮影スポット: 県道247号線山陰本線陸橋(安岡町一丁目))
(受賞者: 安田 真也)
- ・「天空の鳥居への道」
(撮影スポット: 桜井八幡宮御陵鳥居(菊川町大字上岡枝))
(受賞者: 白石 健太)

入選5件

- ・「月あかりの海に映える宵の関門橋」
(撮影スポット: 火の山ロープウェイ山頂駅(藤ヶ谷))
(受賞者: 山川 孝一)
- ・「エメラルドグリーン色の海に佇む白壁の雄姿」
(撮影スポット: 豊北町大字神田上字和久)
(受賞者: 山川 孝一)
- ・「暮れゆく空」
(撮影スポット: 老の山公園(彦島老の山公園 I))
(受賞者: nakamaru_shukichi) ※インスタグラムアカウント(インスタ応募)
- ・「無人駅」
(撮影スポット: JR宇賀本郷駅(豊浦町大字宇賀字上田))
(受賞者: nakamaru_shukichi) ※インスタグラムアカウント(インスタ応募)
- ・「近所」
(撮影スポット: 大字吉田(吉田大橋周辺))
(受賞者: 徳永 毅)

景観デザイン部門

景観賞 「TAGLINE(タグライン) by craftsman coffee roasters」
(所在地: 南部町1-7)
(受賞者: 合同会社CRAFTSMAN)

景観まちづくり活動部門

景観賞 「日和山公園愛護会の活動」
(活動場所: 日和山公園内及び日和山を中心とした地域(丸山町五丁目ほか))
(受賞者: 日和山公園愛護会)

5 表彰式

- (1) 日時 令和3年11月18日(木)10:00～
- (2) 場所 下関市役所本庁舎 東棟5階 市長応接室
- (3) 出席者 12人: 受賞関係者3人、デザイン委員会会長、前田市長、都市整備部職員7人

景観フォトコンテスト部門【景観賞】

「砂紋(さもん)」
(撮影スポット：綾羅木海岸)
(受賞者：toko3318)

インスタ応募

[応募者コメント]

ちょっとだけ砂紋が見れました。昨日の日が沈む前の景色、変わる空色がたまらんちゃね。梅雨明け間近なのかな……。今日もスコールのような雨が繰り返し、晴れたり曇ったり忙しい空模様でした。

[講評]

ひだのある砂紋が沈みゆく太陽に照らし出され、実に美しく輝いています。秀逸な夕日の海岸風景として高く評価されました。



景観フォトコンテスト部門

【優秀賞】

「汽車」
(撮影スポット：県道 247 号線山陰本線陸橋(安岡町一丁目))
(受賞者：安田 真也)

一般応募

[応募者コメント]

まっすぐに伸びる線路を走る山陰線。列車全体と背景の山々の美しさを撮影できる市内でも数少ないスポット。

[講評]

直線に延びる線路、その先の遠い山並み、雲の浮かぶ青い空、のびやかな緑と青の素朴な風景の中に、朱色の電車が生き生きとした存在感を示している点が評価されました。



景観フォトコンテスト部門

【優秀賞】

「天空の鳥居への道」
(撮影スポット：桜井八幡宮御陵鳥居(菊川町大字上岡枝))
(受賞者：白石 健太)

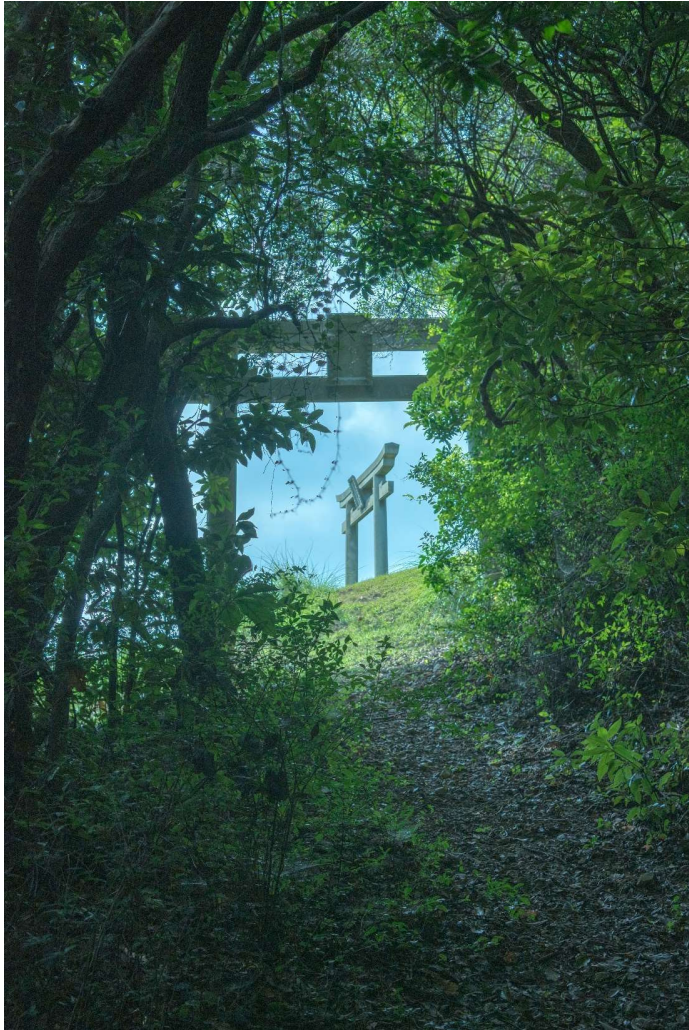
一般応募

[応募者コメント]

下関市の最高峰、華山(げざん)にある天空鳥居。登山道の出口に鳥居があり、その先にまた鳥居が待っている光景は、とても神秘的だったという感覚が今も残っています。

[講評]

山を上り詰めながらふと出くわした、木々の緑に囲まれながら、ほっかりとした明るい空に浮かぶ二つの鳥居。希望の樂園に向かっていっていると思わせるイメージの、美しい光景をとらえている点が評価されました。



景観フォトコンテスト部門

【入選】

月あかりの海に映える宵の関門橋」
(撮影スポット：火の山ロープウェイ山頂駅(藤ヶ谷))(受賞者：山川 孝一)

一般応募

[応募者コメント]

月あかりに反射する海面と、煌びやかな対岸の街の灯りととの競演で、関門橋の夜景は、とてもロマンチックです。日本各地に有名な夜景スポットがありますが、こんなに感動する情景は、他では味わえません。



「エメラルドグリーン色の海に佇む白壁の雄姿」
(撮影スポット：豊北町大字神田上字和久)(受賞者：山川 孝一)

一般応募

[応募者コメント]

紺碧の空の下、エメラルドグリーン色の海に佇む白壁の雄姿は、一際、目をひき絶景です。国道沿いの展望所からの眺望は、中には角島が見え、ロケーション抜群です。



景観フォトコンテスト部門

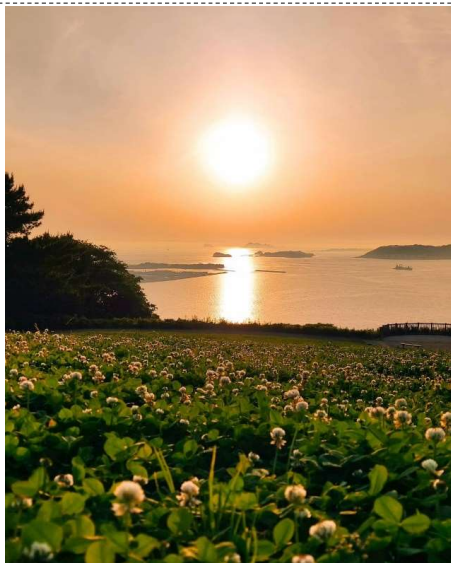
【入選】

「暮れゆく空」
(撮影スポット:老の山公園(彦島老の山公園 1))(受賞者:nakamaru_shukichi)

インスタ応募

[応募者コメント]

下関を代表する夕日スポット

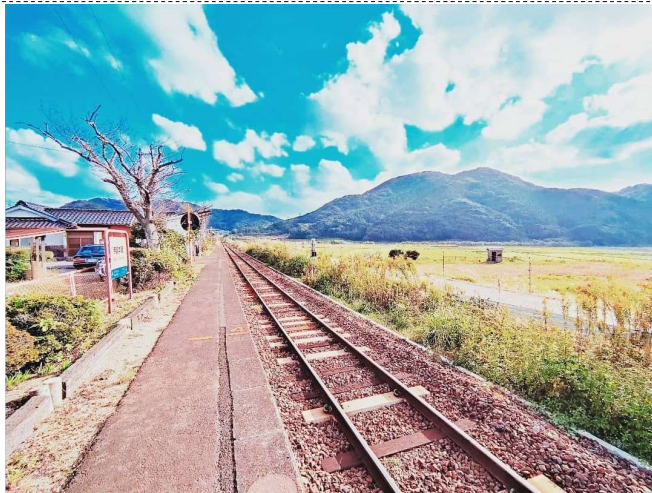


「無人駅」
(撮影スポット:JR 宇賀本郷駅(豊浦町大字宇賀字上田))
(受賞者:nakamaru_shukichi)

インスタ応募

[応募者コメント]

絵画のような風景がお気に入りです。



景観フォトコンテスト部門

【入選】

「近所」
(撮影スポット:大字吉田(吉田大橋周辺))(受賞者:徳永 毅)

インスタ応募

[応募者コメント]

夕方、思い出したかのようにウォーキングへ。景色に応援されました。



景観デザイン部門

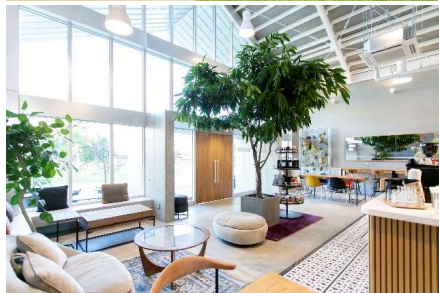
【景観賞】

「TAGLINE (タグライン) by craftsman coffee roasters」
 (所在地：南部町 1-7)
 (受賞者：合同会社 CRAFTSMAN)

【講評】

下関市役所前の市民広場に建つカフェ。新装なった大きな庁舎の建物、広い芝生の前庭とそれを囲むメタセコイアなどの大きな木々、それらの周りの新たな風景の中で存在感を示すシンプルな建築物で、テラスなど建築物の縁辺も十分に活かせるような雰囲気を持っています。

新たに出現した市の中心のオアシスであり、特異なデザイン性はなくとも、市役所のすぐそばにあって、これからも人々が寄り合える場としての「街の縁側づくり」の可能性を有している点が評価されました。



景観まちづくり活動部門

【景観賞】

「日和山公園愛護会の活動」
 (活動場所：日和山公園内及び日和山を中心とした地域(丸山町五丁目ほか))
 (受賞者：日和山公園愛護会)

【講評】

関門海峡を見晴らす丘の上において、歴史的建造物を有する上水道施設のそばに位置する日和山公園は、下関市で最初に設置された公園。その老朽化した公園が、市民にもっと利用され、愛着を持たれるようにと、定期的な清掃・除草活動、花植えや日常的な管理といった維持保全、公園内の記念碑・彫像などの顕彰や祭りなど、さまざまな活動を有志のみなさんで楽しみながら行っています。

平成 30 年には、明治維新 150 周年を記念しての「日和山の竹あかり」イベントを開催し、多くの人々が集まりました。多くの人々が歴史の積み重ねを感じながら、親しみを増して行くほどに、公園はより美しく磨かれて行く、と思わせます。

街なかに生まれた、地域活性化にも結びつく自主的な公園愛護活動として評価されました。

